

か み ま ち

# ㊦ 社協だより

第84号

2020年11月



9月17日(木)、25日(金)、やくらいガーデンと薬師の湯を会場に今年度1回目となる家族介護者交流のつどいを開催し、両日合わせて23名の皆さんが参加されました。コロナ禍の中での開催となった今回は、参加人数に制限を設けた上、一人一人にフェイスシールドを配るなど、十分な感染対策を取りながら実施しました。

当日は見頃を迎えたマリーゴールドやサルビアなどの花が参加者をお出迎え。昨年9月以来の約1年ぶりの開催となり、再開を待ちわびた皆さんの顔にもたくさんの笑顔の花が咲きました。



## 笑顔の花も満開！

～令和2年度第1回家族介護者交流のつどい～



編集と発行

社会福祉法人 加美町社会福祉協議会

加美郡加美町字町裏320 電話 (0229)63-2547 URL <http://www.shakyo.or.jp/hp/288/>

# 第18回福祉作文・ポスターコンクール 入賞者

このコンクールは、加美町内の小中学校の児童生徒及びこども園・幼稚園・保育所の年長児を対象に、社会福祉に対する関心を深め、福祉の心（おもいやり・たすけあい・ささえあい）の精神と社会連帯の意識の高揚を目的に実施しています。

今年度は作文15点（小学生の部6点、中学生の部9点）、ポスター 99点（小学生の部22点、中学生の部2点、幼児の部75点）の応募があり、審査会（審査員長：早坂教育長外、委員8名）の厳正なる審査を経て、下記のとおり入選作品が選出されました。なお、福祉作文と福祉ポスターの最優秀賞作品を紹介します。

（敬称略）

## 福祉作文（小学生の部） ★最優秀賞 後藤 由紀（東小野田小学校5年）

- ★優秀賞 内海 博雅（中新田小1年）
- ★優秀賞 唯野 紫音（東小野田小5年）
- ★佳作 大和田芽依（東小野田小5年）
- ★佳作 工藤 心咲（鳴瀬小2年）
- ★佳作 橋本 湊羽（東小野田小2年）

## （中学生の部） ★最優秀賞 渡邊 和俊（中新田中学校3年）

- ★優秀賞 檜野 春菜（宮崎中1年）
- ★優秀賞 伊藤 千織（小野田中2年）
- ★佳作 畠山 逢夢（小野田中2年）
- ★佳作 千葉 妃乃（宮崎中3年）
- ★佳作 佐々木望花（宮崎中3年）

## 福祉ポスター（小学生の部） ★最優秀賞 伊藤 庵（鳴瀬小学校1年）

- ★優秀賞 本間もも虹（賀美石小3年）
- ★優秀賞 早坂 光翔（西小野田小5年）
- ★優秀賞 今野 知葉（賀美石小6年）
- ★佳作 遊佐 心夏（中新田小2年）
- ★佳作 菅原なつめ（中新田小2年）
- ★佳作 工藤 心咲（鳴瀬小2年）
- ★佳作 千葉 優澄（賀美石小4年）

## （中学生の部） ★最優秀賞 齋藤 優空（中新田中学校1年）

- ★優秀賞 伊藤 彩花（中新田中1年）

## （幼児の部） ★最優秀賞 三浦 愛夏（中新田幼稚園なかよしこども園）

- ★優秀賞 佐藤 唯那（中新田幼稚園なかよしこども園）
- ★優秀賞 川熊 梨心（中新田幼稚園なかよしこども園）
- ★佳作 鈴木 琉美（中新田幼稚園なかよしこども園）
- ★佳作 渡辺 茉依（中新田幼稚園なかよしこども園）
- ★佳作 原 颯太（中新田幼稚園なかよしこども園）
- ★佳作 菅原 一步（中新田幼稚園なかよしこども園）



## おじいちゃんと支え合い

東小野田小学校五年 後藤 由紀

私の家に、いとこが遊びに来ることがあります。その時にいっしょに遊びに来るのが、ひろしおじいちゃんです。おじいちゃんは、目が不自由ですが、やさしく元気です。だからといって、一人でもできるわけではなく、生活するときに手を貸さなくてはならない場面は確かにあります。

おじいちゃんが階段を下りる時、私は手をつなぎます。

「もう少しで階段があるよ。」

と私は声をかけて案内します。ゆっくり一段ずつ階段を下りきると、

「ありがとう。とても助かったよ。」

と、おじいちゃんが言ってくれます。手を貸した私もうれしくなります。

おじいちゃんと物を食べたり飲んだりするときにも、声をかけます。おじいちゃんが、座ってい

る前に物を置いて、

「右にコーヒーがあるよ。」

などと教えてあげます。すると、おじいちゃんは自分で好きなものを食べたり飲んだりすることができるのです。

おじいちゃんがテレビを見る時は、私達と同じテレビを見ることは難しいです。画面を見ることができず、音声でしか状況が分からないので、視覚障害者用の番組やニュースをつけています。ラジオもよく聞いています。目が見えないのに、音声だけで様子が分かるのは、すごいことだなと思います。時々、みんなで野球を見ることがあります。そこで、おじいちゃんが、分からなくなった時は、私がくわしく教えてあげます。

おじいちゃんと旅行に行ったことがありました。カウンターの前でずっと立って待つのが大変そうだったので、私は近くにあったいすを借りてきました。

「少し下がったらいすがあるよ。それに座っていないよ。」

と、私が声をかけました。エレベーターに乗るときも、

「足もとに気をつけてね。」

と言いました。歩いている途中には、ぶつかりそうになる障害物もあって、それをそっとよけたりもしました。少しのことで、おじいちゃんがぐっしょりするんだなと感じました。このぐらいのことで、だれかの助けになるなら、よろこんで手を貸そうと思いました。

人を助けるというと、ものすごく難しいことのように思っていました。でも、ほんの少しのことでもおじいちゃんを助けることができるし、喜んでもらうことができます。

こうして、人と人は支え合っているんだなと思います。それを思いやりと言うのだと思います。私も、その思いやりの中にいられるということが、とてもいいなと感じています。おじいちゃん以外にも、困った人が身近にいたら、これから手を貸して、助けていきたいと思いました。



## 地域を超えた挑戦を経て

中新田中学校三年 渡邊 和俊

僕たちは昨年度、学校の活動で服を求めて毎日を生きる世界中の子どもたちのために「届けよう、服のチカラプロジェクト」というものに挑戦した。先生からこのプロジェクトに挑戦する話を聞いたとき、僕はとても楽しみな気持ちになった。日本では考えられないような苦しい生活を送る子どもたちに、行動することでお力になれる、この行動で世界に貢献することにつながると感じたからだ。

服の回収計画を立て、地域の様々な施設に回収をお願いし、夏から回収を始めたこの活動。たくさんさんの服を集めることができるように、仲間とアイデアを出し合いながら協力してPR用ポスターや回収BOXを制作した。加美町役場での回収を担当した僕は、学校で様々な回収方法を考えたり、役場の職員さんと相談したりしながら回収を進めた。このことに楽しさを感じながらも、難

しいという気持ちが一番大きかった。僕自身、どのようにすれば多くの人にプロジェクトについて知ってもらい、服を持ってきてもらえるのかを考えることの大変さを感じていたけれど、先生方や役場の職員さんたちからたくさんさんのアドバイスをいただき、活動を進めることができた。

新聞などのメディアを通じてこのプロジェクトを知り、仙台市や富谷市など、県内各地からたくさんさんの服を持ってきてくださった方もいた。このことから、「協力する」という言葉が今を生きる人々に根強く生きていて、僕たちに多くの出会いの機会を与えてくれることに驚きを感じた。人と人の支え合いの大切さを身をもって感じる事ができた瞬間だった。

最終的に、ダンボール約百九十箱分の服が集まり、プロジェクトの成功と大きな達成感を得られるものとなった。その後、僕たちで回収した服が海外に届けられている映像を見た。服をもらって笑顔がはじけている子どもたち。僕が想像していた以上に喜んでもらえたこと、世界の人たちに自分たちの行動を示し、力になったことが何よりも嬉しかった。

地域と協力し、地域を大きく超えることに挑ん

だこのプロジェクト。この経験を通じて世界に羽ばたくための一歩を踏み出せたような気持ちになったし、世界とのつながりを強く感じるものとなった。中学生であっても、既に世界とつながって生きていることを知った。また、世界中にはまだ不自由な生活を送っている人たちがたくさんいることに改めて気付かされる機会にもなった。僕たちがこれから地域を超えて世界を見渡し、手を差し伸べられる人間になるためにも、そのような世界をもっと知っていく必要があるはずだと思う。

今の世界に必要なことは、誰もが心の青空を見ることができるような世界を作ることだと感じる。幸福や喜びで包まれる世界になるように、僕たちはこれからも歩み続ける。

※注 この作文は、この活動をより良く知っていただくため、受賞作品の一部を修正し掲載しています。

# 福祉ポスター最優秀賞



## ●小学生の部

鳴瀬小学校一年 伊藤 庵  
「ずっとげんきでいてね」



## ●中学生の部

中新田中学校一年 齋藤 優空  
「小さな事から私たちに出来る事」



## ●幼児の部

中新田幼稚園なかよしこども園 三浦 愛夏  
「いつもあそんでくれてありがとう」

(入選作品については、ホームページでもご覧いただけます)



# コロナ禍でもつながる地域のチカラ!

## ～平柳・北川内行政区の活動紹介～

今年は新型コロナウイルス感染症の影響により、様々なイベントや集まりが中止となっていました。ここにきて町内各行政区では徐々に活動再開の兆しが見えてきています。今回はその中から平柳行政区のミニデイサービスと、北川内行政区のふれあい・いきいきサロンの『笑和会』をご紹介します。

平柳行政区のミニデイサービスでは、開会前に入口にて検温と手指消毒を行い、またレクリエーションの際にも、マスクに加え接触感染を避けるためのビニール手袋を着用するなど、しっかりとした感染予防対策がされていました。

この日は社協の介護予防シニア元気塾とタイアップ。スカットボールの最中には、「ほれ! 入れ!」、「何だや難しいなや〜」などといった楽しそうな声や拍手が飛び交いました。

今年度は3回行われる予定となっており、今回参加された方からは「来年はマスクなしが良いね」など、早くも来年を楽しみにしている声も聞こえ、マスクをしていながらも笑顔や笑い声が届く素敵な会となっていました。



▲よ〜く狙って…ナイス・ショット!! (平柳)



▲「はい! 特賞の醤油ねっ!」(笑和会)

笑和会は、平成14年7月に設立。大正と昭和生まれの集まりからと、「正」と「昭」の字を『笑』に替えて命名し、毎週金曜日に開催して今年で18年になります。現在の会員数は17名で、68歳〜92歳と親子ほどの年の差はありますが、それが良い刺激となっています。「金曜日 金も薬も いらない日」を合言葉に、特別な会ではなく、皆で集まって楽しくしゃべることが病気を寄せ付けない何よりの秘訣となっているようです。

今年度はコロナ禍のため、月1回の開催となっていますが、手作りのくじ引きによるお楽しみ抽選会は大盛り上がり。一日も早く以前のように、マスクなしで毎週金曜日に集まれる日が来ることを願っています。

## 歳末たすけあい募金にご協力をお願いいたします

今年も12月1日から12月31日まで、全国各地で歳末たすけあい募金運動が実施されます。こちらの募金は、町内在住の一人暮らし高齢者の方を対象とした『歳末ふれあいあったか弁当配布事業』に全額有効活用させていただきます。皆様のご協力をお願いいたします。



# 近藤義次

## 元会長 ご逝去 (享年八十九歳)



近藤義次 元会長

令和二年十月十一日、加美町社会福祉協議会の元会長近藤義次氏がご逝去されました。

近藤元会長が旧中新田町社会福祉協議会の会長に就任したのは平成元年四月です。合併後も初代会長となられ、二十八年の長きにわたり、社協の舵取りをしていただきました。

その間の功績は多大なものがああります。とりわけ介護保険事業や障害福祉サービス事業の経営は、福祉に対する情熱を持つだけでなく、多方面に人脈をもち、人心掌握術に長けた会長でなければ、到底成し得ないものでした。

相手の立場になって行動する近藤元会長の考えは徹底しています。介護職員の気持ちを知るため、七十歳を過ぎてホームヘルパー3級資格を、八十歳の頃には2級資格を自費で取得されています。飽くなき探求心と学習意欲に、職員も随分と触発されたものです。

芸達者な一面もあり、一人暮らし高齢者の集

いでは得意のダンスを披露してください、皆を笑わせてくれました。また、時には職員と町の福祉の発展について激論を交わしたこともあり、目をつぶれば、猛々しくも優しいその声が聞こえてくるような気がします。

「使命感を持たないとだめなんだよ。社協としての誇りをもってさ。やらせてもらえる喜びを感じてくださいよ。」

その遺志を受け継ぎ、この町の社会福祉の向上のため役員一丸となって取り組んで参りたいと思います。今日まで本当に有難うございました。

ここに謹んで、近藤義次 元会長のご冥福をお祈り申し上げます。

### 近藤義次 元会長 経歴

中新田町社会福祉協議会会長

(自平成元年四月 至平成十五年三月)

加美町社会福祉協議会会長

(自平成十五年四月 至平成二十九年三月)

### 【表彰歴】

平成七年十一月 全国社会福祉協議会長表彰

平成二十一年十一月 宮城県知事褒状

平成二十四年十一月 厚生労働大臣表彰

平成二十六年五月 旭日双光章



## 除雪サービスのお知らせ



社会福祉協議会では高齢者等の生活支援事業として、今年も除雪サービスを実施します。利用を希望される方は、下記の内容をご確認の上、社協事務局にてご相談ください。

- 【対象者】 おおむね70歳以上の一人暮らし、または二人暮らし高齢者世帯の方で、かつ要支援以上の介護認定を受けている、または身体障害者手帳保持者がいる町県民税非課税世帯の方。
  - 【利用料金】 1回あたり300円。ただし、中新田地区で作業時間が1時間を超える世帯及び小野田・宮崎地区は、1回あたり400円。
  - 【利用申請】 各地区の社協事務局にて申請書を受け取り、必要事項をご記入の上、町県民税が非課税であることを証明する書類（非課税証明書等）を添付してください。
  - 【申請締切】 令和2年11月30日(月)まで
- ※なお、敷地が広範囲で手作業が困難であったり、お住まいの地区にシルバー人材センターの作業可能な会員がいない場合は、ご希望に添えないこともありますので、あらかじめご了承ください。

◎問合せ先：加美町社会福祉協議会・本部（中新田福祉センター内） ☎63-2547  
小野田福祉サービスセンター（小野田福祉センター内） ☎67-7177  
宮崎福祉サービスセンター（宮崎福祉センター内） ☎68-2105



# 新型コロナウイルスの影響により生活にお困りの皆様へ ～一時的な資金の貸付に関するご案内～

## 緊急小口資金（特例貸付）

【対 象 者】新型コロナウイルスの影響を受け休業等により収入の減少があり、緊急かつ一時的な生計維持のための貸付を必要とする世帯。

【貸付上限額】 20万円以内

【据 置 期 間】 1年以内

【償 還 期 限】 2年以内

【貸付利子・保証人】 無利子・不要

## 総合支援資金（特例貸付）

【対 象 者】緊急小口資金を利用しても尚収入の減少が続き、生活維持が困難な世帯。

※先に緊急小口資金（特例貸付）を利用していることが条件となります。

【貸付上限額】 月20万円以内×3か月間

（1人世帯の場合は月15万円以内×3か月間）

【据 置 期 間】 1年以内

【償 還 期 限】 10年以内

【貸付利子・保証人】 無利子・不要

※緊急小口資金及び総合支援資金の特例貸付の受付期間が12月末日まで延長されました。

※上記の情報は本会ホームページにも詳細を掲載していますのでご覧ください。

## 介護職員等『社協スタッフ』大募集!!

加美町社会福祉協議会のスタッフとして、一緒に働いてくれる方を募集しています。応募される方は、希望の勤務先（※複数エントリー可）職種等を明記した履歴書、資格者証の写し等を持参の上、加美町社協本部（加美町字町裏320番地・電話63-2547）までお申込みください。

### ①小野田西部デイサービス調理員

（加美町字田中浦56番地）

【職 種】 調理員 2名

【勤 務 日】 月～土曜日（勤務シフトによる）

【勤務時間】 ・8:30～12:30（4時間）

・8:30～16:30（7時間）

※週勤務時間は要相談

【賃 金】（資格無）時給880円

（調理師）時給920円

【資 格】 満65歳未満

### ②加美町社協ケアサポートセンター

（加美町字大門110番地1）

【募集人員】 介護支援専門員 1名

【勤 務 日】 月～金曜日

【勤務時間】 8:30～17:15 週38時間45分以内

【賃 金】 経験2年以上 月給228,500円

※未経験者及び経験2年未満の方の賃金は本会規定による。

通勤手当、賞与

【福利厚生】 社会保険、雇用保険加入

【資 格】 満65歳未満、要普通運転免許、介護支援専門員

## 生活相談所開設

★時間：午前10時～正午

★場所：中新田公民館・第一相談室（1階）

開設日	相 談 員	
11月19日	工藤わか子	今野 攻
12月17日	庄司 定雄	大崎 吉男
1月21日	佐藤千鶴子	早坂 彰彦

※予約の必要はありません。相談を希望される方は、開設日に直接会場へお越しください。

## 温かい善意ありがとうございます

### 寄 付 金

（令和2年7月16日～令和2年10月16日）

★(有)加美建硝店 様 20,000円

### 物 品 寄 付

★古内ちよし 様（西上野目）…タオル100枚

⇒小野田西部デイサービスセンターへ

★相澤とし子 様（北区）…トイレットペーパー

★加美商工会女性部 部長 斎藤せい子 様

……………タオル、石鹸、雑巾、洗剤等

★工藤 俊宏 様（埼玉県川越市）

……………シャンプー・リンス、炊飯器